

自己診断シート

この自己診断シートは「東京都立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標」（以下「指標」）を基に作成しています。
 「指標」は 教育公務員特例法に基づき、公立の小学校等の教員の任命権者が、文部科学大臣が定めた指針を参照し、その地域の実情に応じて策定するものです。東京都教育委員会では、令和4年8月に改正された国の指針を踏まえ、指標を改定しました。
 東京都立学校の教員には、東京都の教育に求められる教師像が教員としての普遍的な資質の素地であることを踏まえ、成長段階に応じて求められる役割や身に付けるべき力等を自覚し、生涯にわたって資質の向上に努めることが求められます。

【教員の職層・成長段階に応じた求められる役割や能力】（「指標」より抜粋）

職層・成長段階	教員				教育管理職等			
	基礎形成期 1～3年目	伸長期 4年目～	主任教諭 充実期 9年目～	主任教諭 充実期 11年目～	職層	教育管理職候補 主幹教諭	教育管理職 副校長 校長	
求められる役割や能力	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導、生活指導や学級経営において直面する課題に対して、適切に対応する。 学習指導、生活指導や学級経営における教員としての基礎的な力を身に付けるとともに実践に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主任教諭を補佐しながら、分掌組織の一員として職務を遂行する。 自分の能力開発について謙虚に自己研鑽に励み、知識や経験に基づき実践力を高めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主幹教諭を補佐しながら、校務分掌などにおける学校運営上の重要な職務を遂行する。 教育指導の専門性を活用し、校務を処理するとともに同僚や教諭等に対して助言や支援を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 都立学校教員全体の授業力の向上を図る。 高い専門性と優れた指導力を活用し、自校や他校の教員の人材育成を推進することができる。 	職層	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針を受けて、他の教員に対してリーダーシップを発揮することで副校長を支え、管理職としての責任や学校経営ができる力を身に付ける。 教職員とのコミュニケーションにより自校の課題を捉えて解決策を立案し、課題解決に向けて参画する。 学校内外との良好なコミュニケーションを構築し、学校の教育力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針の具現化に向けた方策を作成・提示し、リーダーシップを発揮して教育活動の改善の中心となり、校長と共に学校を経営する。 教職員の状況変化を敏感に捉え、組織的な課題解決に向けて、校長と共に働きやすい職場環境を推進する。 学校内外との良好なコミュニケーションを構築し、学校の教育力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校内外の事後把握に基づいた学校経営方針を作成・提示し、高い視座でリーダーシップを発揮して学校改革を推進する。 教職員の状況等を的確に把握し、個々の能力が最大限に発揮できる人材配置と働きやすい職場環境を構築し、推進する。 学校内外の良好なコミュニケーションを構築し、学校の教育力を最大化する。

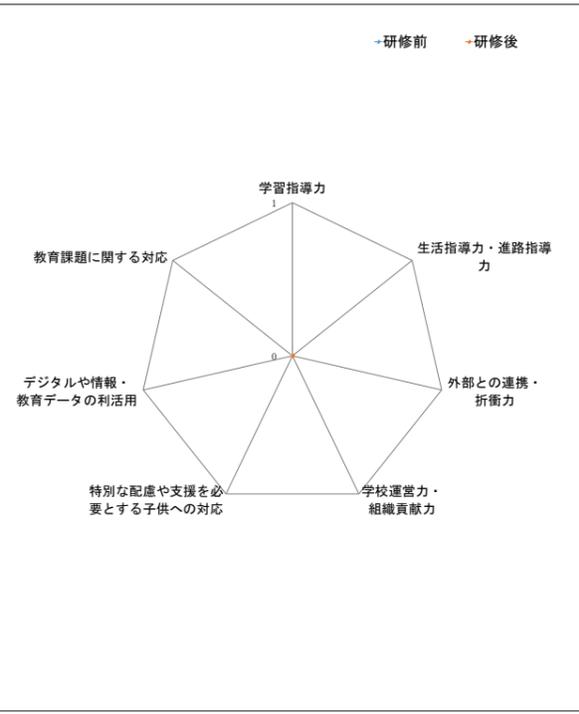
中堅教諭が目指す段階

自己評価について（4段階）
 4⇒ 他者からも取り組みが十分認められている状態
 3⇒ 適切な判断と行動ができている状態
 2⇒ 概ね達成しているが、もう少し取り組みが必要である状態
 1⇒ 日常的な取り組みとしてはまだ不足していることがある状態

自己評価	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ				自己評価			
	研修前（5月）	平均値	該当する校内における研修 ▶ 詳細は「手引」28～34ページ参照	校内における研修の一例 ▶ 詳細は「手引」44～46ページ参照		研修後（12月）	平均値	
学習指導力 ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた、学習者中心の授業をしている。 ・他の教員と協働した授業研究をしている。 ・授業について他の教員に対して指導上の課題を捉えた指導・助言をしている。 ・校内の授業改善や授業評価について、実態や課題を捉え、解決策を提案している。		0.0	授業研究 A・B 授業研究 A・B 授業研究 A・B 授業研究 A・B、 学習指導に関するレポート	●授業研究 ●「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実践等 ●教科部会における付箋を用いた研究協議 ●一人1台学習者用端末を効果的に活用した教材の作成・活用（デジタルや情報・教育データの利活用の視点でも研修可能） ●中堅教員としての他の教員への学習指導に関する指導・助言 ・他の教員の指導案作成への助言 ・他の教員の授業参観 ・「授業力の要素」を用いた指導・助言		0.0		
	生活指導力・進路指導力 ・児童・生徒がもつ個々の悩みや思いを共感的に受け止め、学校生活への適応や人格の成長への援助を行っている。 ・それぞれの可能性や活躍の場を引き出す集団づくり（学級経営）を行い、児童・生徒に自己有用感をもたせている。 ・自校の生活指導・進路指導上の課題について把握し、解決策を提案している。		0.0	教育相談等に関する研修 A・B 教育相談等に関する研修 A・B 教育相談等に関する研修 A・B、 生活指導・進路指導等に関するレポート	●中堅教員としての他の教員への生活指導についての指導・助言 ・問題行動の実態防止と早期発見 ・学校不遇への対応 ●児童生徒の権利に関する校内研修の実践 ●校内における事例研究の実践 ●学年のキャリア教育の次年度年間計画（案）の作成		0.0	
		外部との連携・折衝力 ・関係機関に対し学校の考えを明確に示すとともに、情報収集を適切に行うなどして、円滑な関係を築くことをしている。 ・自身や学校の強み・弱みを理解し、保護者・地域・関係機関との連携協働を通じて、教育活動をより充実させている。		0.0	教育相談等に関する研修 A・B、 生活指導・進路指導等に関するレポート、 選択研修	●学校からの組織的な情報発信 ●地域の関係諸団体との連携と対応 ●地域の教育環境を活用した授業 ●地域の情報の収集と校内への周知、情報整理 ●ゲストティーチャー（G.T）と連携した授業		0.0
			学校運営力・組織貢献力 ・担当する校務分掌の職務について、他の教員に指導・助言している。 ・学校運営上の課題を捉え、対応策について提案している。		0.0	人権教育と新たな教育課題、 教育法規と新たな教育課題 学習指導に関するレポート、 生活指導・進路指導等に関するレポート	●円滑な学校運営のための分掌間の連携、校務分掌の業務改善に向けた提案・校務分掌の業務改善に向けた提案 ・校務改善に向けた分掌間の連携 ・校務分掌の次の担当者への引継ぎ資料作成 ●校務改善の推進に向けた経営支援組織への参加 ●校内OJTの実施と検証	
特別な配慮や支援を必要とする子供への対応 ・多様な児童・生徒のニーズに対応するために必要となる知識や支援方法を身に付け、学習上・生活上の支援を工夫している。		0.0		教育法規と新たな教育課題	●他の教員が作成した「学校生活支援シート」等への指導・助言 ●特別支援教育に関する研修の校内還元		0.0	
デジタルや情報・教育データの活用 ・デジタル技術及び地域・社会の教育資源の活用や情報活用能力の育成に関する、適切な指導計画を作成し授業実践等を行っている。 ・情報活用能力の育成に関する他の教員の指導状況を把握し、研修計画や助言をしている。 ・児童・生徒の学習改善を図ったり、生活指導に生かしたりするための教育データの活用方法を提案している。		0.0	授業研究 A・B、 職務と新たな教育課題 授業研究 A・B、 職務と新たな教育課題	●一人1台学習者用端末を効果的に活用した教材の作成・活用（学習指導の視点でも研修可能） ●デジタル技術や情報活用能力の育成に関する指導計画の作成や実践 ●他の教員の情報モラル教育についての指導・助言 ●ICTの校務活用に関する校内研修の推進		0.0		
	教育課題に関する対応 ・教育課題に関する校務分掌での重要な役割を担い、他の教員に対して指導・助言をしている。		0.0	人権教育と新たな教育課題、 職務と新たな教育課題、 教育法規と新たな教育課題	●中堅教員としての他の教員への学習指導や学級経営、生活指導等についての指導・助言 ●研修で学んだ教育課題に関する内容の校内還元		0.0	

＜自己診断シートの使い方＞

- ① 受講者が、自己評価の研修前の欄に4段階で評価を記入する。
- ② レーダーチャートに自動で自己評価の結果が表示される。
- ③ 受講者と管理職が面談を行い、受講者の研修の段階や校内における研修実施内容等を決定する。その際、自己評価の結果等から、受講者の強み、研修を通して伸ばしていくべき資質・能力などに注目する。
※ 自己診断シートに記載されている校内研修は一例のため、受講者や学校の実情に合わせて研修を設定する。
- ④ 研修計画に沿って、研修を受講する。中堅教諭等資質向上研修Ⅰ以外の自主的に受講した研修や自己研鑽のために行ったことがあれば、各項目の該当箇所に入力する。
- ⑤ 受講者が、自己評価の研修後の欄に4段階で評価を記入する。
- ⑥ ②と同様、レーダーチャートに自動で自己評価の結果が表示される。
- ⑦ 受講者と管理職が、研修の成果や今後のOJTへの取組について、キャリアプラン等に関して面談を行い、受講者の今後の学びに繋げていく。



＜管理職との面談記録＞

●研修前（月 日）	●研修後（月 日）
面談内容の記録（面談内容：受講者の強み、研修を通して伸ばしていくべき資質・能力、研修計画について等）	面談内容の記録（面談内容：研修の成果、今後のOJTへの取組について、キャリアプランについて等）

起案してください。

入力不要です。

※ 「O1_基礎情報登録シート」の入力内容が反映されます。

中堅教諭等資質向上研修 I 研修計画書

学 校 名	
校 長 名	(公印省略)
電 話	

受講者氏名	職名	職員番号	課程	専門教科・領域

研修の段階		中堅研 I
学習指導	段階	受講開始年度
生活指導・進路指導	段階	

研修・研究歴

【研修計画書の入力状況について】
提出前に確認してください。
「入力ミス有」または「入力ミスまたは未入力」が残っている場合、入力内容の確認をお願いします。

はプルダウンで選択をしてください。

は入力をしてください。

は入力不要です。

は入力不要または入力できません。

※ 提出前に御確認ください

研修計画書の入力状況について

校外における研修	入力ミス有
校内における研修	入力ミス有
自己評価、教職に必要な素養と取組み	入力ミスまたは未入力
校長の研修方針等	入力済

1 校外における研修

研修項目	研修タイトル	必要回数	代替の回数	昨年度までの受講回数	今年度実施予定回数	小計	入力チェック
授業研究 B	授業研究 B②				1	1	
	授業研究 B③				1	1	
	授業研究 B④				1	1	
	学習指導に関するレポート	2				2	2
生活指導・進路指導	教育相談等に関する研修 A	1			1	1	
	教育相談等に関する研修 B						
	生活指導・進路指導等に関するレポート	2				2	2
公務員としての資質向上	選択研修 ※1	4				0	4回不足
	人権教育と新たな教育課題	1			1	1	
	服務と新たな教育課題	1			1	1	
	教育法規と新たな教育課題	1			1	1	

【昨年度までの受講回数】
「O1_基礎情報登録シート」の「研修受講歴」が「○」の場合、入力可能です。

【選択研修の内訳】 ※1 こちらに研修先、昨年度までの受講回数や今年度実施予定回数を入力します

選択研修の研修先 (研修先が未定の場合は「研修先未定」)	昨年度までの受講回数	今年度実施予定回数

【選択研修の内訳】
「今年度実施予定回数」及び「昨年度までの受講回数」に数値を入力してください。
選択研修の研修先が未定の場合、「研修先未定」と入力してください。

2 校内における研修

研修計画	昨年度まで	今年度	小計	入力チェック
		6	6	

学習指導		昨年度まで	今年度	生活指導・進路指導		昨年度まで	今年度	外部との連携・折衝		昨年度まで	今年度	学校運営・組織貢献		昨年度まで	今年度
代替の有無				代替の有無				代替の有無				代替の有無			
研究授業及び協議会①			3												
研究授業及び協議会②			3												
研究授業及び協議会③			3												
<p>【昨年度までの受講時間】 「O1_基礎情報登録シート」の「研修受講歴」が「○」の場合、入力可能です。 昨年度までで実施している場合は、赤枠内に昨年度までに実施した時間数を入力してください。</p>															
昨年度までの受講時間				昨年度までの受講時間				昨年度までの受講時間				昨年度までの受講時間			
小計			9	小計			0	小計			0	小計			0
入力チェック				入力チェック				入力チェック				入力チェック			

特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		昨年度まで	今年度	デジタルや情報・教育データの利活用		昨年度まで	今年度	研修のまとめ		昨年度まで	今年度
								代替の有無			
								研修のまとめ			6
								小計		6	6
								入力チェック			
昨年度までの受講時間				昨年度までの受講時間				校内における研修 合計		21	
小計			0	小計			0	総時数が不足しています			
入力チェック				入力チェック							

3 自己評価 (自己診断シートへの入力)

学習指導力

【3 自己評価】
 「O2_自己診断シート」の
 「自己評価」を入力してください。

教育課題に関する対応

4 教職に必要な素養と取組み (受講者が入力)

東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰを通して、身に付けたい素養について二つ選択し、それぞれ理由と具体的な取組み案等を入力してください。

「教職に必要な素養」	
【理由と具体的な取組み案等】	

「教職に必要な素養」	
【理由と具体的な取組み案等】	

5 校長の研修方針等 (管理職が入力)

東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰを通して、受講者に特に身に付けさせたい「教職に必要な素養」を選択してください。(複数選択可)

学習指導力	<input type="radio"/>	【具体的に身に付けさせたい内容がありましたら御記入ください。未入力でも構いません。】
生活指導力・進路指導力	<input type="checkbox"/>	
外部との連携・折衝力	<input type="checkbox"/>	
学校運営力・組織貢献力	<input type="checkbox"/>	
特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	<input type="checkbox"/>	
デジタルや情報・教育データの利活用	<input type="checkbox"/>	

起案してください。

7 第 号
令和 年 月 日

教職員研修センター研修部授業力向上課長 殿

入力不要です。

※ 「O1_基礎情報登録シート」の入力内容が反映されます。

学校(園)名 _____ 0
校長名 _____ 0 (公印省略)
電話 _____ 0

研修 I 研修実施報告書

フリガナ	0	職名	職員番号
受講者氏名	0	0	0

研修の段階		中堅研 I
学習指導	0	段階 受講開始年度
生活指導・進路指導	0	段階

研修・研究歴等	
①	教職大学院派遣研修修了者
②	東京都教員研究生修了者、東京都教育研究員修了者
③	東京教師道場リーダー、東京教師道場リーダー修了者
④	研
⑤	
⑥	
⑦	
研究歴1:	
研究歴2:	

- はプルダウンで選択してください。
- は入力をしてください。
- は入力不要です。
- は入力不要または入力できません。

【研修実施報告書の受講・入力状況について】
「入力ミスまたは未入力」になっている場合は、3、4を確認してください。

※ 提出前に御確認ください

研修実施報告書の受講・入力状況について	
校外における研修	未修了
校内における研修	未修了
研修の成果に関する自己評価	入力ミスまたは未入力
中堅教諭等資質向上研修 I に係る校長所見	入力ミスまたは未入力

1 校外における研修

研修項目	研修タイトル	必要回数	代替の回数	今年度の受講回数	昨年度までの受講回数	回数小計	受講状況	
学習指導	授業研究A①	1					未受講	
	授業研究A②	1					未受講	
	授業研究A③※1	1					未受講	
	授業研究A④	1					未受講	
	授業研究B	授業研究B①						
		授業研究B②						
		授業研究B③						
		授業研究B④						
学習指導に関する						講		
生活指導・進路指導	教育相談等に関する						講	
	生活指導・進路指導等に関するレポート	2					未受講	
公務員としての資質向上	選択研修※2	4		0	0	0	未受講	
	人権教育と新たな教育課題	1					未受講	
	服務と新たな教育課題	1					未受講	
	教育法規と新たな教育課題	1					未受講	

【選択研修について】
・回数は、「※2 【選択研修の内訳】」にある「今年度の受講回数」及び「昨年度までの受講回数」に半角数字を入力することで回数が反映されます。
※「回数」に直接入力はできません。

「校外における研修」の受講状況について→

※1 【授業研究A③及び授業研究B3の受講内容について】(都立学校のみ)

実施日	研修内容	研修先

※2 【選択研修の内訳】

実施日	午前	研修内容	研修先	今年度の受講回数	昨年度までの受講回数

【選択研修の入力について】
・研修内容…プルダウンより選択してください。
※昨年度までに履修した研修も入力してください。
※半日1回ずつの入力となります。1日で実施をしている場合も、午前・午後に分けて入力してください。

2 校内における研修

研修項目	必要時間数	代替の時間数	今年度の受講時間数	昨年度までの受講時間数	時間数小計	受講状況
研修計画					0	未受講
学習指導	授業研究① 実施日:				0	未受講
	授業研究② 実施日:					
	授業研究③ 実施日:					
	上記以外の学習指導の校内研修					
生活指導・進路指導					0	未受講
外部との連携・折衝					0	未受講
学校運営・組織貢献					0	未受講
特別な配慮や支援を必要とする子供への対応					0	未受講
デジタルや情報、教育データの利活用					0	未受講
研修のまとめ					0	未受講
※ 総時数が不足しています（「実施の手引」を御確認ください）					0	未修了

【受講状況について】
 ・「実施の手引」に記載されている時間数をもとに、受講または未受講を判断しています。
 ・研修歴を正しく選択している場合は、代替の時間が自動で表示されます。

3 研修の成果に関する自己評価（受講者が入力）

	研修開始前の平均値 (研修計画作成時)	現在の平均値
学習指導力		
生活指導力・進路指導力		
外部との連携・折衝力		
学校運営力・組織貢献力		
特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		
デジタルや情報・教育データの利活用		
教育課題に関する対応		

【3 自己評価】
 「02_自己診断シート」の「自己評価」を入力してください。

4 中堅教諭等資質向上研修 I に係る校長所見 ※3

① 受講者	<p>【校長所見について】 ・未修了であっても、一部研修を受講した場合は入力してください。</p>	昨年度までの入力
② 受講者の若手教員等に対するOJTの状況	<p>※昨年度の報告書に記入済みの場合は、入力を省略することができます。 その場合は、「入力済」を選択してください。</p>	
③ 自己評価		④ 研修論文の評価

※3（別添）「中堅教諭等資質向上研修 I 等に係る校(園)長の所見」を御参照ください。